



田村 善弘氏

オーブン カレッジ

「韓国」と「食品輸出」はなかなか結びつかない組み合わせであると考えられる。それは、韓国の輸出品目といえはサムスンやLGに代表される家電製品の方が私たちに

「韓国」と「食品輸出」はなかなか結びつかない組み合わせであると考えられる。それは、韓国の輸出品目といえはサムスンやLGに代表される家電製品の方が私たちに

韓国の食品輸出

たむら よしひろ 消費者問題論、食料経済論。九州大学大学院生物資源環境科学府博士課程修了、博士(農学)。韓国政府(農村振興庁)、佐賀大学の研究員を経て2011年から現職。1980年生まれ。

……
各種のインスタント食品(ラーメンなど)まである。そして、野菜売場にあるパプリカをみると、多くは韓国産である。韓国は食品輸出を近年積極的に進めている。しかし、この重点を置いているためである。第2に、韓国の食文化の

つてはイメージしやすいため出されているものではない。実際、2012年の韓国の食料自給率は45・3%である。実際に、スーパーなどの輸入食材のコーナーに目を向けると、一昔前にはなかった韓国産の食品が目につく。キムチ、韓国海苔(ノリ)、コチュジャンなどの商品に加え、このよつな状況のなかで、食品輸出を進める理由として、以下の2点が考えられる。

現地の言語で消費者つかむ

普及である。韓国では「韓食」も進めている。世界化」を政策のスローガンとして掲げ、韓国の食文化の普及への支援を行っている。これを通して、結果的には、国のイメージを高めることを目的としている。

食品輸出への支援は、農水産品流通公社を中心とする関係機関が行っている。内容には、輸出団地の建設、物流費や海外での食品エキスポの出展など細部にわたって加えて、安全性の確保への取組みを進めている。過去に残留農薬が検出されたパプリカの場合は、農家のID登録制を実施している。加えて、有機農産物の認証取得な

